

第8回うきは市ルネッサンス戦略推進協議会 議事要旨

日時：平成30年5月29日（火）14時～16時

会場：うきは市役所3階大会議室

出席：会長 狩野啓子 久留米大学文学部 特任教授
委員 堀 康雄 九州地方整備局企画部 事業調整官
藤田 茂 九州農政局福岡県拠点 地方参事官
西原康史 福岡県企画・地域振興部 市町村支援課長
小川悠貴 日本政策投資銀行九州支店 企画調査課長
赤司晃一 筑邦銀行吉井支店 支店長
内村光宏 福岡銀行吉井支店 支店長
上村和史 西日本シティ銀行吉井支店 支店長
糸山 信 西日本新聞社 浮羽支局長
田村吉彦 うきは市社会福祉協議会 事務局長兼総務企画課長
平位秀敏 うきは市商工会 事務局長
石井信一 にじ農業協同組合 営農経済担当常務
平川光臣 浮羽森林組合 代表理事組合長
久次辰巳 うきは市観光協会 会長
関 健児 うきは市勤労者協議会 会長
杉 俊明 御幸地区自治協議会 事務局長
大塚貴久子 浮羽青年会議所 監事経験者
處 愛美 うきは市教育委員会 委員
高木亜希子 九州元気計画経験者
平川智恵 うきは市子育て計画委員経験者
高橋和子 白壁レディース21 代表
樋口幸代 うきは翼の会 代表
今村一朗 うきは市 副市長

欠席 湯川俊明 九州経済産業局地域経済部地域経済課 地域創生担当参事官
志野久美子 九州厚生局健康福祉部 医事課長
水城 薫 浮羽中学校 PTA 副会長

1- 開会（事務局）

2- あいさつ（会長）

3- 協議事項

(1)平成29年度地方創生交付金採択事業報告
（担当職員説明後、質疑）

【委員】「寺子屋事業」のPRの方法について教えてほしい。

【事務局】年度当初に各小学校へチラシを配布して募集した。子どもたちは学校の宿題に取り組んだり、当日配布する算数や国語のプリントを解いたりしている。サイエンスショーや読み聞かせを行って子どもたちのモチベーション維持に努めた。

【委員】「歴史的資源関連施設整備事業」の居蔵の館と鏡田屋敷について、どのような活用がされているか。また運営はどうしているか。

【事務局】双方とも伝統的建造物群保存地区の特定物件であり、歴史的な価値を損なわないような整備を行った。厨房施設を設置して風呂場等を改修したが、かまどや五右衛門風呂など使用できるため子ども達の体験施設としても活用してもらいたい。今後の活用については現在検討中だが施設の滞在時間を伸ばすような活用をしていきたい。

【副会長】うきは市には世界に誇ってもいい白壁の町がある。外国に行くと古い城跡や刑務所だった建物をホテルに改装し、数年先まで予約が埋まっているところもある。うきはにもそういう施設があるといいと思う。上手く活用していきたい。うきは市吉井町は江戸時代に宿場町であったが現在は泊まる施設が少ない。制約があるがうきはの強みを積極的に活かしていきたい。

【委員】「歴史的資源関連施設整備事業」について、一般的に展示物の説明ではボタンを押すとアナウンスが流れるものが多い。居蔵の館と鏡田屋敷でも考えてはどうか。

【委員】「調音の滝公園施設改築事業」ではそうめん流しは夏のイメージがある。夏以外の季節もうきはの起点になる場所であるといい。うきはの広告がなされる仕掛けがあったり、例えば冬は暖かいにゅうめんが食べられたり、夏と違う演出もできるとよいのではないか。

【事務局】公園施設の営業期間は7月15日の滝開きから9月までの予定。10月以降のシーズンについても今後検討していきたい。

【委員】関連で間違っていたら申し訳ないが、元有地区による公園施設の運営を妹川地区自治協議会全体でやるべきではないか。過去の経緯等もあるだろうが自治会全体で対応できれば先ほ

ど意見があったような新たな展開や夏以外の需要等にも応えることができるのではないか。

【事務局】そうめん流しについては設立当初からと思うが元有区で対応してきた経緯がある。たしかに今自治協議会が校区単位で組織されている。今後協議を進めていきたい。

【委員】「東京アンテナショップ」で29年度の売上額が3千万円に届いていない状況だが、今後の取り組みについて伺いたい。

また、道の駅うきはに「地域総合商社施設整備事業」でオープンしたウキハコと、既存観光案内所の位置づけを教えてください。

さらに「歴史的資源関連施設整備事業」で居蔵の館と鏡田屋敷の売上目標が設定されているが、イベントによるレンタルスペースとしての機能もあるのか伺いたい。

【事務局】アンテナショップは久留米広域連携中枢都市圏事業で久留米市と3市2町が共同運営している。売上に苦戦しているがアンテナショップの主な目的は久留米地域のPRの場として位置付けている。今後は新鮮な果物等も増やしながら売上アップを図っていきたい。

アンテナショップでのイベントにうきは市ではJA、観光協会等各種団体とチームを組んで合計8回実施した。ただし、資料の決算額はイベント以外の嘱託臨時職員の人件費やうきは産商品のパッケージングにかかる委託費等が含まれる。次年度は発展性のある首都圏へのPRを行ってきたい。

道の駅うきは内のウキハコと観光案内所の位置づけについては、当初ウキハコは総合商社の事務所として進めていた。話を進める中でより有効に活用するために着地型観光の拠点としての機能を持たせる変更をした。合理性を持たせてできるだけ早く整理し、次回以降報告できるようにしたい。

居蔵の館と鏡田屋敷については、今まで公開のみの運用だったが今回の改修によってより活用できる施設となった。運用については本年度

始まったばかりであり様々な意見を聞きながら検討したい。

(2) 地方創生事業の KPI 検証
(担当職員より説明)

【委員】 加速化交付金の KPI 「就労継続支援 A 型利用者（農業関係）」の実績値が 2 名と 11 名とあるのは各年度の数か。

【事務局】 加速化交付金の KPI は各年度の純増値ではなく累計値であり、現在まで 11 名が利用。

【委員】 この「就労継続支援 A 型・B 型（農業関係）」の KPI は障害者に関するものだが、障害者の雇用は難しい問題と感じる。雇用定着の取り組みについて行政として何か考えているか。

【事務局】 農林部門としての回答となり今日は詳細な説明ができないが、特に A 型は雇用契約を結ぶものでありできる限り就労を続けていただき自立に向けた取組みが必要と考えられる。福祉事務所や社協とも連携して進めていけたらと考えている。

【委員】 企業版ふるさと納税の KPI 「うきは市への U ターン者数」68 名の年齢構成が知りたい。生産年齢層が来ているのか確認したい。

【事務局】 68 名の内訳は 20 代が 22 名、30 代が 24 名、40 代が 15 名、50 代が 7 名だった。

【委員】 拠点整備交付金のうきはツーリズム・ステーション整備事業の KPI 「お雛さまめぐり入込数」で、今年の観光期間は人通りが少なかった。完成した市の観光 PR 動画でも国道沿いの風景が少なく残念に思う。今年の第 7 回福岡県屋外広告景観賞では白壁の町並みを代表して「すゞや 呉服店」の建物が最優秀賞を受賞した。授賞理由には吉井町の町並み全体が評価されていた。まち全体を魅せていけるようなまちづくりが進めばいいと思う。

【事務局】 ご指摘のとおり 29 年度の KPI では目標に届かず、雨と寒さが 2 月の観光客数に響いた。一方で今まで観光協会を中心に実行委員会で運営してきたが、母体の推進力が上がらないことが会議で課題になっている。「オールうきは」会議の中でもいろんな団体に呼びかけながら地域全体で盛り上げていけないか今年度戦略の中で検討していきたい。

【委員】 今年度から始まる 30 年度「6 次産業化研究開発・事業化支援センター」について教えてほしい。

【事務局】 うきはの農産物は集荷しても成果物として 100%出荷できておらず、キズや形状から未利用となるものがある。そういったものを有効利用すべく 6 次化施設で付加価値を高めたり研究する施設として位置付けている。農産物に限らず市内の産物を活用して商品化できる施設を予定している。

【会長】 「6 次産業化研究開発・事業化支援センター」に産学官とあるが大学との連携もあるのか。

【副会長】 包括連携協定を結ぶ中村学園大学とともに先週 25 日に柿氷のイベントを行った。未利用のまま棄てていた農産物に対して 6 次化の取組を行い、より付加価値の付いた商品化を実現させるべく中村学園大学と連携を考えている。

(3) ルネッサンス戦略の基本方針に係る KPI 検証
(担当職員より説明)

【委員】 (高校卒業世代の市外への流出について) 高校進学では学区の問題があるため成績優秀な子ほど中学校の段階で流出していく問題がある。せめて高校生まで地元で育てば地元に対して愛着がわいて、40 代 50 代になって親の介護が必要になるときに U ターンして帰ってくるといった選択肢も出てくるかもしれない。中学校から外に出た子どもたちは思春期の一番多感な時期

を市内で過ごさないことで地元へ愛着が湧かないと思う。教育熱心な親御さんほど市外の中学受験が選択肢に入る。第2次ベビーブームに産まれた子どもが親になって既に出産適齢期を過ぎており、今は小学校低学年で一人っ子が珍しくないなかで子どもを簡単に旅立たせるのは凄くもったいないと思う。

【委員】うきは市の小学生の学力は今少しずつ上がって全国平均を上回っている。しかし今言われたように高校生で次にどうつなげるかといった部分で厳しい部分があると思う。我が家でも孫の進学について娘が悩んでいる。高校卒業世代の市外への流出について、高校を卒業して市内への就職という観点で見れば人口流出を是正することは一つの考え方かもしれないが、大学に行くということで考えたらうきは市には大学がないわけで人口流出を是正するといった考え方がいいのか、うきは市内に魅力的な職業があって大学を卒業したあとにうきは市に帰ってきてもらうのか、そのあたりを今後考えていかなければならないと思う。

【会長】高校の学区を決定するのは県の教育委員会なのかわからないなかで地方の少子化を含めて学区を決定していただいていると思うが、うきはから働きかけることができればいいのかもしれない。先ほど委員に発言いただいたように、うきはに大学がないために早めに流出するのは止められないけれども、帰ってくる就職先がつかられればUターンの可能性もあるだろう。

【委員】うきはから福岡都市圏へ通勤に高速バスを使えば1時間圏内である。例えば高速バスのバス停の近くに市が駐車場を借り上げれば良いという話が以前の会議で出されて期待していたがなかなか進まず、おまけに昨年は豪雨災害もあった。東京から比べたら2時間も3時間もかけて通勤をしている人がたくさんいる中でうきはからは福岡に1時間で行ける。JRにも少し駐車場があり駐車場を管理したらいいのではない

か。北海道の千歳空港の近くでは大きな無料駐車場から札幌市内に通勤している人もいる。うきはでも駐車場があれば福岡まで通勤できる。

【会長】広い無料駐車場も魅力だが、市長や副市長からうきはは水が良いという話を聞いて非常に魅力的だと思っている。上水道がない珍しい市として都会にアピールできると思ういろいろな定住を促す戦略があると思う。うきはの人にはピンとこない当たり前のことが都会の人にとっては凄く魅力的なポイントとしていくつもあはずで、売り出しかたとしてはテロワールもその一つだろう。おいしい水でおいしい果物ができるといった宣伝の仕方にも工夫があればいいのではないか。

【委員】ルネッサンス戦略では人口増の観点があると思うが、子どもたちが仕事をするにあたって今はどこでもどんな仕事でもできる時代になっている。旧来の仕事がある一方で、ユーチューバーのような仕事生まれて子どもたちのなりたい職業の上位となっている。おそらく子どもたちはもっと違うアイデアで商売をする時代になるなかで、そのアイデアを得る場所が都会なのかもしれない。一方でそうした仕事に就いてもうきは市に帰ってきたほうがその仕事が進むことになる面もあって出ていく人と帰ってくる人の二極化が進んでいくのではないかという気がするし、そうあってよいのではないかと思う。

【副会長】うきは市は光ケーブルが中山間地を含めて整備済みである。ネット環境で言えば東京や福岡に行かずとも同じ仕事が可能である。うきはを拠点にしても仕事ができるので都会から人を呼び込み、たまには自然環境の良いところでリフレッシュしながら仕事ができることや、就職で市民が流出したとしてもそういった仕事に就いた方でもうきはに戻って仕事ができる面がある。そういった部分をPRしていきたいと思うし、育児中でも対応できるテレワークといった仕事もできる。これから仕事の幅が広がって

いくと思う。

【会長】ITなどどんどん時代が進む中で、世界の環境が変わっていくことを親が教えて準備することは可能だと思う。寺子屋事業は名前は古めかしいが案外そういったことに取り組みやすい事業ではないかと思う。うきはの大人がフレキシブルに自分ではできなくても子どもにヒントを与える工夫を凝らせることができるのではないかと考えている。ほかに意見・感想はないか。

【委員】会議は時々出席するが、今日のように議論が自然に進んで行く会議は会長の進め方もあると思うが非常にいい会議だと感じた。自分たちもKPIを設定することがあるが、低めに目標を設定することもあるなかで高い目標設定がされていて真面目に取り組んでおられる印象を受けた。

【委員】この4月に福岡に異動してうきはを初めて訪れた。これまで鳥越製粉がある町と認識していた。今回出席して市民の皆さんと行政が熱心に議論されていることに非常に頼もしく感じた。生産額を高めたり所得を増やすことを考える中で若い方に農業に従事してもらったり6次産業化の施設を造る話を伺い、新しい発想で市に役立つようなことができればいいと思った。

【委員】KPIが大変意欲的な設定でこれに向かって走っていることに敬意を表したい。日本の地域戦略としてまち・ひと・しごとを創ることが原点でKPIもそういった部分で作ってもらっている。副会長が言われたネットやSNSによる仕事を新しい世代に繋げていくことは無視できないものであり次代に引き継ぐ話であり興味深く伺った。このプロジェクトが成功するよう今後も応援したい。

【委員】KPIについて苦言を申し上げたい。今日の説明で一般的にKPIが交付金に対する目標設定に終始されている。本来KPIは市制の方向性の代替変数であり、目指す方向性の指数である。

交流人口を増やすとかこういうまちにしたいという方向性が中長期的にあるなかで目標年度が3年目で終わっていてそういう話では本来なのではないか。3年が交付金の設定単位であることは理解するが、もっと長いスパンで代替変数としてみんなで見て考えるべきだと思う。何がしたいのかと言うと、少しKPIが細かいのではないだろうか。大事なのは交流人口を増やしたいのであれば交流人口を増やせばよく、果たして一つの施設にこれだけの人が来たということに大きな意味があるか、もっと大きな目線で見て、市民みんなが共有してゴールを目指すべきと申し上げたい。

【委員】4月に赴任してきた。人もいい方ばかりでスイーツがおいしかったりアピールできる部分がたくさんあると思っている。若い世代が外に出て行ってしまいう面で少し課題がありいろいろとKPIを設定してやられているが、PDCAサイクルを回してダメだったらどんどん施策を考えていくことが必要。年度単位ではなくもう少し短い単位で回してはどうか。また、人が出ていく面と来てもらう面を考えた場合に知らない方に一度来てもらってアピールできるイベントが必要だと思う。市民が参加できる例えばマラソンのようなイベントがあったら面白いと思う。

【委員】昨年うきはに赴任した。警察署の説明の中でうきは市は県内でも人口単位で一番犯罪件数が少なく安全安心もうきはのブランドになるのではないかと言われた。人を呼び込むアピールとしてそういった計画当初にはなかった取り組みもこういった会議で共有していければ意見の交換もできるため、そういった報告もあるといいと感じた。

今秋、合瀬耳納トンネルが開通予定であり、八女市と地域間交流ができると思うが、八女市との新しい計画や予定があれば教えてほしい。

【委員】個人的にエリソンオニヅカに関する活動をしている。ハワイとの移民交流150年を迎えて八女市に上院議員をされたイノウエさんや筑

豊にも関係者がおられる。(合瀬耳納トンネルは)八女香春線にあって沿線の星野村に大きな望遠鏡があるので、いろいろな取り組みを計画していきたい。今までは浮羽町だけでやっていた取り組みをうきは市全体に広げていこうと提案している。

【事務局】合瀬耳納トンネルの構想段階で、うきは市と八女市によるフルーティランド構想が生まれた。うきはのフルーツと八女のお茶(ティー)から名付けた構想で年1、2回協議している。開通に伴って交流が増えた段階で様々なイベントができればいいと思っている。

【会長】この会議は委員の発言が活発で昨年からは市職員が参加して質問に答える形式になっている。回数はたくさん開かれているわけではないが非常に実のある会議になってきていると思う。まだ喋りたい委員もおられると思うが時間も経過している。そろそろ終了させていただく。

4- その他(次回開催日程について)

5- 閉会(事務局)